

「中山町地震に強いまちづくり勉強会」の活動経緯



第1回 平成22年6月20日(日) 参加者：23名

テーマ：この勉強会について

地震に対する備えに関するビデオを上映した後、勉強会を開催する趣旨や目的、中山町の状況、勉強会のスケジュールについての確認を行いました。



第2回 平成22年7月25日(日) 参加者：16名

テーマ：まちの状況を確認し、地震防災上の問題点をまとめる

2つの班に分かれて町内を歩き、中山町の地震防災上の問題点を話し合いました。

住宅の耐震化に関するアンケート 平成22年8月 (調査期間：8月2日～8月16日)

中山町にお住まいの方を対象にアンケートを実施したところ、146件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。



第3回 平成22年9月12日(日) 参加者：18名

テーマ：「地震に強いまち」にするために何をすべきかを考える

第2回の結果と、アンケートの結果などをもとに、中山町にふさわしい「地震に強いまち」に向けた方策・取組は何かを話し合いました。また、第4回の内容についても話し合いました。

耐震診断ローラー作戦 平成22年10月3日(日) 参加者：20名

町内の46のお宅を訪問し、耐震診断の受診の案内を行いました。その結果、当日に町内で6件の申込がありました。



第4回 平成22年11月21日(日)

参加者：約30名

地震を知ろう!! 体験会

皆さんにも参加していただき、元神戸市消防士の中谷満さんによる講演会のほか、なまず号による体験会を開催しました。



第5回 平成23年2月13日(日) 参加者：17名

テーマ：これからの「地震に強いまちづくり」の作戦を立てる

「地震に強いまちづくり」に向けて、中山町で今後取り組んでいくことを具体化させるための話し合いを行いました。

平成23年3月

発行 知立市役所 建設部建築課 Tel:0566-83-1111(内線456・457)

協力 中山町内会

中山町 地震に強いまちづくり勉強会 ニュース

中山町内会では、昨年の6月から知立市と協力して「中山町地震に強いまちづくり勉強会」を開催してきました(勉強会の活動経緯は4ページ目をご覧ください)。勉強会では特に、住宅の耐震化がどうしても進むのかを中心に話し合いを進めてきました。この勉強会を通じて、今年の春以降に中山町で取り組んでいくことがまとまりましたのでお知らせします。

中山町において「地震に強いまちづくり」に向けて行うこと

1. 地域での助け合い(組活動や自主防災組織の強化)

① 組織の強化

平成23年4月から町内会、老人会、自主防災会が中心となり、災害発生時のそれぞれの役割分担を決めるなど、防災に対する組織をより強固なものにしていくことが提案されました。また、その際には「パトロール隊の協力」や「若者の力」を取り込んでいくことも併せて提案されています。

② 一人では避難が困難な方の把握

高齢者が多い中山町では、一人暮らしの高齢者などを把握し、助け合うための対策が必要だという意見も多くありました。民生委員や組長の皆さんに協力していただき、話し合いをしていくことが提案されました。

2. 災害時に向けた対策

① 避難路の確保

平成23年度は、災害時に安全に避難所まで移動できる避難路を確保することが提案されました。具体的には、住民の方に避難路を知ってもらうことや、安全な避難路にしていくために、以下のような取組が提案されました。

- 避難訓練時に避難路を実際に歩く
- 回覧で避難路の地図を配る
- 町内会によるパトロール時に気づいたことを知らせる
- など

② 地震時に備えた備蓄

知立市の備蓄だけでなく、各家庭での備えを強化していくことが提案されました。町内会の行事・イベントにおいて、各家庭に必要な備蓄品の種類や量などを情報提供いたします。

※それぞれを具体化するなかで、内容や時期などが変更になることも考えられます。

今後も中山町と知立市は、力を合わせて地域の「地震に強いまちづくり」を進めていきます。

中山町を地震に強いまちにしていくため、**日頃からご家庭での地震への備えを強化するとともに、町内会の取組にご協力をお願いします!!**

「住宅の耐震化に関するアンケート」

昨年8月に町内にお住まいの世帯を対象として実施したアンケートでは、146件のご回答をいただきました（調査票配布数210件、回答率69.5%）。その結果の概要をご報告します。

<全体の集計から（集計対象：145件）>

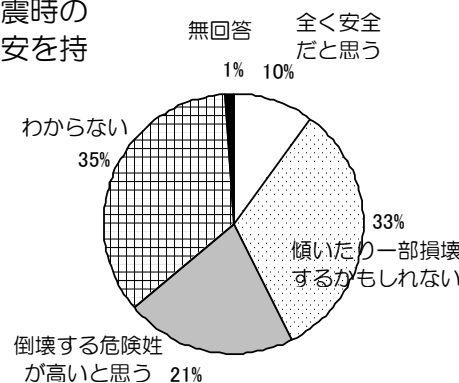
項目	結果の概要
無料耐震診断制度の認知度	知立市が行っている無料耐震診断制度を「知っている」との回答は全体の76%で、多くの方に認知されていることがわかりました。また、昭和55年以前に建てられた住宅にお住まいの方の認知度は79%となっており、全体に比べ若干高いという傾向があります。
耐震改修補助制度の認知度	知立市が行っている耐震改修補助制度を「知っている」との回答は全体の62%で、半数以上の方に認知されていることがわかりました。また、昭和55年以前に建てられた住宅にお住まいの方の認知度は70%であり、全体に比べより高いという傾向があります。
家具の転倒防止等対策の実施	「家具の固定をしている」との回答は全体の25%、「寝室に家具は置かないようにしている」との回答は全体の25%で、何らかの家具の対策を行っているのは全体の50%という結果になりました。
自主防災会等の活動の認知度	中山町自主防災会について「知っている」との回答は全体の61%で、そのうち「活動内容を含めて知っている」は19%でした。

<昭和55年以前の建築についての集計から（集計対象：80件）>

これ以降は、耐震化の主な対象になる古い耐震基準で建てられた住宅の状況として、建築時期が「昭和56年以降」とした方の回答を除いた場合の集計から、主要なことがらをご報告します。

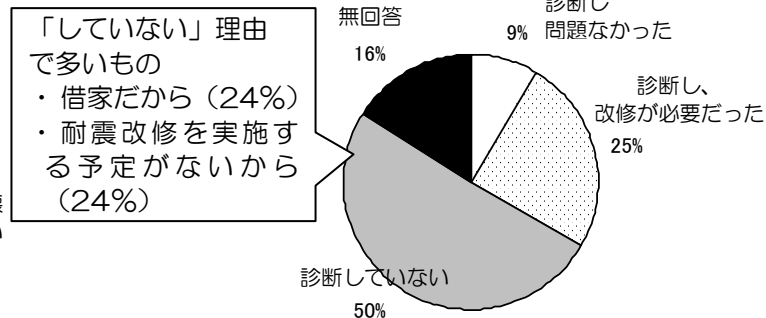
■地震に対する不安

5割強の方が地震時の住宅の安全性に不安を持っています。



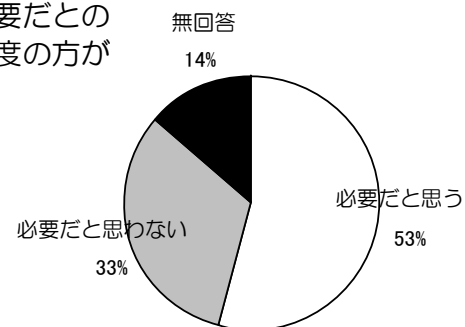
■無料耐震診断の実施

「無料耐震診断をしていない」のは約5割です。



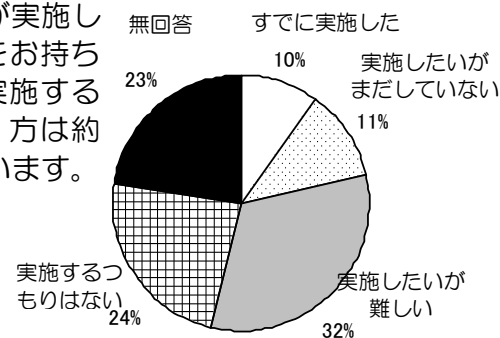
■耐震改修の必要性

耐震改修が必要だと認識は、5割程度の方がお持ちです。



■耐震改修の実施意向

4割強の方が実施したいとの意向をお持ちです。一方「実施するつもりはない」方は約24%となっています。



■耐震改修をしていない理由（「現在のところ耐震改修をしていない」と回答された方）

順位	回答	割合
1	改修費用が高く負担できない	32%
2	改修しても効果があるか心配である	19%
3	高齢のため面倒である	14%
4	もう高齢なので耐震改修を実施しても長い間住めないからもったいない	13%
5	地震が起きるかどうかわからない	10%
6	他のリフォームをしたばかりで、今は費用をかけたくない	8%
7	近い将来実施する予定	7%
8	誰に相談していいかわからない	7%
9	近いうちに建て替えまたは住み替えるので、今は費用をかけたくない	6%
10	何をしたらいいかわからない	4%
11	改修の際に移転が必要になるなど、生活環境が変わるのが不安	1%
12	家の中に他人を入れたくない	0%

※複数回答 「その他」の回答を除く

■耐震改修をするために望む支援

順位	回答	割合
1	最低限の費用でできる方法を教える	28%
2	補助金の増額や融資制度を充実	28%
3	改修に関する各種の情報の提供	21%
4	信頼できる建築設計士や工務店などを紹介	18%
5	気軽に相談できる人を紹介	11%
6	相談窓口の設置	11%

※複数回答 「その他」の回答を除く

■耐震改修をする場合に負担が可能な額

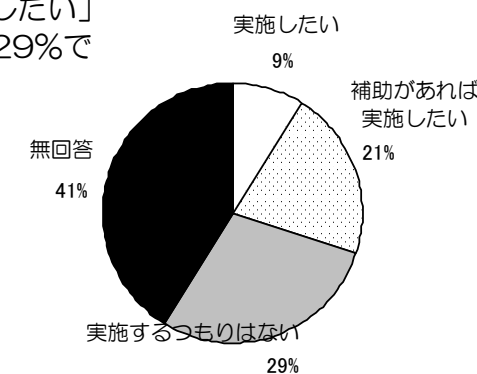
回答	割合
20万円未満	8%
20～50万円未満	11%
50～100万円未満	11%
100～150万円未満	6%
150～200万円未満	3%
200万円以上	4%
負担は難しい	20%
無回答	37%

※2つに0を付けている1件は、小さい方の額で集計した

■簡易な耐震改修

寝室のみを補強するなど少しの費用で行う少しの改修を、「実施したい」（“補助があれば”を含む）は30%、「実施するつもりはない」は29%です。簡易な耐震改修のニーズは二つに分かれています。

「実施したい」理由で最も多いのは
 ・最低限命が守ればよいから：76%
 「実施するつもりはない」理由で最も多いのは
 ・家が倒れない改修では意味がないから：61%
 となっています。



このほか、「住宅の耐震化を進めるために、市や地域活動はどうしていけばよいか」などに関する多くのご意見をいただいています。

これらのご意見を含むアンケートの結果をもとに、勉強会での話し合いが行われました。

ご協力ありがとうございました。



（第3回勉強会の様子）